

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことば

が ( はい ) に入ります。あてはまることばを、  
あとの  からえらび、 ( ) にかき  
ましょう。

① このノートは、たてよりも ( よこ ) のほう  
が長い。 なが

② つくえは大きい おお が、いすは ( ちい 小さい )。

③ このようふくの外 そと がわは、じみだが、 ( うち 内 )  
がわは、はです。

④ この教室の上 うへ は音楽室で、 ( した 下 ) は ざこうしつ 図書室だ。

下 した      よこ      内 うち      小さい ちい

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことば

が ( ) に入ります。あてはまることばを、  
あとの  からえらび、( ) にかき  
ましょう。

① 駅えきに行くには、この道みちを左ひだりにまがり、つぎの  
かどを (右みぎ) にまがればよい。

② お父とうさんのかばんはおもいが、ぼくのかばん  
は (かるい)。

③ (あつい) おちやと、つめたいジュース。

④ 少ないすくえさで、(多くおお) の魚さかながつれた。

かるい      右みぎ      多くおお      あつい

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことばが

( はい ) に入ります。あてはまることばを、あとの  からえらび、( かきま ) にかきましよう。

① この公園は広いが、すな場は ( せまい ) 。

② 太い糸を、( ほそ ) はりのあなに通すのはた とお いへんだ。

③ 雲取山は東京都で一番高い山だが、日本一の ふじさん 富士山とくらべると ( ひくい ) 。

④ ねこのしっぽは長いが、うさぎのしっぽは ( みじかい ) 。

みじかい      せまい      ひくい      細い ほそ

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことばが

( ) はいに入ります。あてはまることばを、あとの  からえらび、( ) かきまにかきましよう。

① この電車の前でんしや まえのほうは、こんでいるが、(後うしろ)のほうはすいている。

② おじいさんは、かさを売うったお金かねで、お米こめを(買かった)。

③ いそいで行いったが、おすれものに気きづいてもどつて(来きた)。

④ くつをぬいで、スリッパを(はく)。

来きた      買かった      後うしろ      はく

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことばが

( はい ) に入ります。あてはまることばを、あとの  からえらび、( かきま ) にかきましよう。

① 学校 がっこう から いえ ぼくの家は ちか 近いが、ともだちの家は いえ

( とお 遠い ) 。

② かたい ボールと、( やわらかい ) ボール。

③ この川 かわ は ( あさい ) ところ と、ふかい ところ がある。

④ 白 しろ くまは、さむ さには つよ 強いが、あつさには ( よわ 弱い ) あさい ( よわ 弱い ) 。

あさい

弱い よわ

遠い とお

やわらかい